

北九州市立中尾小学校  
学校だより  
令和7年2月3日号  
校長 上赤義人

学校教育目標  
すこやかに、おおらかに、  
たくましく伸びる児童の育成

## 避難訓練・集団下校訓練

1月29日(水)に全校で不審者対応の避難訓練と集団下校訓練を行いました。

本校では、年間3回以上、避難訓練を行っています。それぞれに火災・地震・不審者等に想定した訓練です。今回は、避難訓練にプラスして集団下校訓練も行うことにしました。

集団下校のねらいは、①災害時に集団で下校することによって安全を確保すること、②児童を狙った犯罪から身を守ること等が挙げられます。その他、このような活動を通して、高学年はリーダー性を養い、低学年は交通安全の意識を高めたり、他の学年のお兄さん、お姉さんの姿を見て学んだりすることができます。

子どもたちは避難訓練での放送を聞いて静かに体育館に集合し、素早く帰宅方面ごとに整列をすることができました。また、担当の先生の話聞く姿勢もとても素晴らしく、訓練とは思えないほど真剣に取り組む姿が見られました。その後方面ごとに担当の教員の引率のもと高学年と低学年がペアになり、安全に下校しました。

来年度には、災害時引き渡し訓練を予定しています。その際は、保護者の方にもご協力いただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、是非この機会に「公園で遊んでいるときに地震があったら、〇〇に行く」「自宅に戻れないとは〇〇に行く」など『災害連絡カード』等を活用して、子どもたちと話し合っておいてください。

今後も災害や不審者事案等が発生することなく、子どもたちが安全で安心な学校・家庭・地域生活が送れることを願うと同時に、万が一に備えて常に高い危機意識をもつことが必要だと考えています。



「全国学力・学習状況調査」の調査結果について  
6年生を対象として、令和6年4月18日(木)に、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。その調査結果を分析し、今後の取組について本校HPにまとめましたので、お知らせいたします。

この結果をもとに、来年度に向けての取組を進めてまいります。

## あいさつについて考える 朝の正門から

子どもたちの登校時に正門に立つことがあります。私が「おはよう」とあいさつすると多くの子どもたちが「おはようございます」とあいさつをします。

「挨拶は大切だ」「挨拶は人間関係のスタートだ」として、「挨拶のできる子どもを育てる」ことが学校教育のひとつの基盤になっています。本校においても例外ではありません。一日の学級の始まりや終わり、授業の初めや終わりには、子どもたちも教師も挨拶をします。

ただ、正門で私が「おはよう」とあいさつすると「……(無言)」や私と視線も合わせない子どもも少なくありません。また、複数で登校している子どもに私が「おはよう」とあいさつすると「おはようございます」「……(無言)」と一人一人の反応が異なります。

挨拶をしない理由としては、「面倒だから」「挨拶をしても無視されるから」「みんなしてないから」等の様々な理由があるようです。一方で、挨拶をすることに何らかのトラウマがあったり自分から声を掛けることに心理的な負荷を感じることもあるようです。

本校においては、これからも挨拶の指導を継続していき「挨拶の意味や大切さ」等について子どもたちに考えさせるとともに、「挨拶をしない」「挨拶ができない」子どもの声なき声にも耳を傾けていきます。そのためにも、まずは大人(教師)から挨拶をしていきます。

ご家庭においてはどうでしょうか。

